

(第3種郵便物認可)

娘の死「命の授業」に



景子ちゃん—鈴木中人さん提供

6歳の娘を小児がん
で亡くした名古屋市中
区のNPO法人代表、
鈴木中人さん(58)が医
師や教員らと作り上げ
た中学生向けの「命の
授業」の副教材が今春
完成する。鈴木さんは
「娘の実話を通し、命
は尊いというメッセー
ジを届けたい」と語る。
冊子や教員向け指導案
などをまとめ、全国へ
普及を目指す。

名古屋のNPO代表 中学生向けに副教材



「小児がんリアルに向き合って」

鈴木さんは2005年、14年度からがん教
育の検討を始めた。鈴
木さんは評価しつつ
も、「禁煙などの予防
教育が中心であること
に違和感も持った。い
じめや自殺が相次ぐ学
校現場では命の大切さ
を学ぶ授業が役立つと
思った。冊子は、娘が
している女性の实話も
紹介。「学校に戻って
2人の少女の写真。製
作メンバーの元教員が
教師役で、冊子を使っ

0人が発病しているこ
とや、患者の7〜8割
が完治している状況も
説明した。小児がんを
克服して看護師を目指
てもらったモデル授業
を見守った。黒板には
ダウンロードできるよ
うにする。問い合わせ
(052-5581-886
86)へ。【町田結子】



授業後、生徒たちに話しかける鈴木中人さん—愛知県小牧市立北里中で2日
小児がんを克服した女性や景子ちゃんの実話を紹介する冊子—いずれも町田結子撮影

めにもつながりかねない」と、治療の副作用
で髪が抜けることや、
体育に参加できないな
どの制約にも触れる。
今日2日、鈴木さん
は愛知県小牧市立北里
リボンネットワークの
ウェブサイトからも
ダウンロードできるよ
うにする。問い合わせ
はパトナタッチする会
(052-5581-886
86)へ。【町田結子】

て「景子ちゃんは幸せ
だったか」などと問
かけた。生徒は意見発
表の後、4人1組で議
論を重ねた。「自分の
命は自分だけのものじ
やない」「幸せではな
かったかも」「命は大
切」など、さまざまな
反応があった。鈴木さ
んは「リアル(現実)に
向き合うことが重要」
と手応えをつかんだ。
授業は道德の時間な
どを想定し、鈴木さん
らが出向くことも検討
する。4月以降、希望が
あれば高校や教員を目
指す大学生にも送り、
同会と、共同製作した
NPO法人「ゴールド